

愛産研 ニュース 増補版

愛産研ニュース（増補版）

平成17年7月5日発行

No.15

編集・発行

愛知県産業技術研究所 企画連携部

〒448-0003 刈谷市一ツ木町西新割

TEL 0566(24)1841・FAX 0566(22)8033

URL <http://www.aichi-inst.jp/>

E-mail info@mb.aichi-inst.jp

7月号
2005

- 今月の内容
- 『工業技術部応用技術室』の紹介
 - 3次元測定機出力データの表現力向上
 - 発生ガスの分析
 - 色素増感太陽電池

『工業技術部応用技術室』の紹介

工業技術部は、企業の皆様に直接対応する部門で、依頼試験、技術相談・指導および研究業務を行っています。このうち、応用技術室は、物流技術、木材加工、画像技術の3担当で構成されています。ここでは、当室で行っている依頼試験、技術相談・指導の概要について紹介します。

【依頼試験】

依頼試験は、物流技術、木材加工担当が主として行っています。最近5年間の依頼件数は、下表のように推移しています。

表 依頼試験の推移 (件数)

担当	H12	H13	H14	H15	H16
物流	1,200	1,261	1,274	1,513	1,363
木材	1,132	1,261	1,046	1,362	1,087
合計	2,332	2,522	2,320	2,875	2,450

物流技術担当へは、段ボール、緩衝材、パレットなど包装材や輸送用資材を生産されている企業やいろいろな業種の物流部門からの依頼が大きな割合を占めています。このため、物流担当では、段ボール、紙器業界のみならず、幅広い業界から依頼を受けているのが特徴です。試験項目では、振動試験と圧縮試験がそれぞれ年500件程度あります。

前者は、輸送状態をシミュレーションして包装材の性能をチェックする場合と製品単体の対振動性を評価する場合があります。後者は、段ボール、パレット等の強度を評価しています。最近の傾向としては、製品そのものの振動や衝撃に対する評価試験の依頼が増加し、衝撃試験、落下試験がそれぞれ100件程度となっています。

木材加工担当に関する依頼試験は、木質材料の各種物性試験と家具、机、椅子など製品としての強度試験の2種類があります。このため、依頼される方の業種は、ほとんど木質材料の製造者と家具製造者です。

いずれの担当とも迅速で的確な試験を行い、依頼される方の製品評価、新製品開発に役立つよう努力しておりますので、ぜひご利用していただきますようご案内します。

【技術相談・指導】

物流技術担当では強度、振動、衝撃に関すること、木材担当では木質材料加工技術と木製品の物性評価に関すること、画像技術担当では福祉用品のデザイン、ユニバーサルデザインなどデザイン全般について技術相談・指導に応ずることができますので、気軽にご相談ください。



工業技術部 応用技術室長

佐藤 豊(yutaka_1_satou@pref.aichi.lg.jp)